

【事務事業調査】

事務事業名	遺族会補助		予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 001-03-01-03-000201010
担当部課	住民生活部健康福祉課	担当 係長	高齢者・介護係 吉葉恵子	事業の分類 既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	→	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	H22 事後評価 町遺族会の、戦没者の慰霊、戦没者遺族の福祉増進、平和の意義継承等のための活動を推進するため、補助金を交付しました。		戦没者遺族の処遇向上や慰霊塔・忠霊塔の維持管理、次世代への戦争体験の継承等の活動に寄与できます。
	H24 事前評価 町遺族会の活動を推進し、各事業の円滑な運営を支援するため、補助金を交付します。		
実績	/		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
会員数	280人	/	H23年度当初会員数 280人

■事業費(計画)

【単位:千円】

細節	金額	積算根拠
1 補助金	110	前年同額
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	110	

■事業費(実績)

【単位:円】

細節	金額	特記事項
1	/	
2	/	
3	/	
4	/	
5	/	
6	/	
7	/	
8	/	
9	/	
10	/	
	0	

■事業経費

		計画 【千円】	実績 【円】	特記事項
予算	当初予算額	110	/	
	補正予算額	/	/	
	流用額	/	/	
	予算現額	/	/	
決算	決算額	/	/	
財源	国庫支出金	/	/	
	県支出金	/	/	
	地方債	/	/	
	受益者負担金	/	/	
	その他の特定財源	/	/	
	計	0	/	
	差引(一般財源)	110	/	

■補助金等名:遺族会補助金

■補助事業者等:町遺族会

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	3	戦没者の慰霊や遺族の処遇改善等の活動のほか、町の追悼式や次世代への戦争体験の継承等、全町的な活動も行っています。
		■町全体に波及効果が期待できる。		
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	3	戦没者の遺族も年々高齢になり、戦争に関する記憶も薄れつつある中で、その歴史を継承し、平和の尊さ、生命の重さというものを語り継いでいく活動も実施しており、社会全体への貢献ができます。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	3	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	5	直接のサービス受益機会は、ほとんどが会員に限定されます。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	1	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	5	交付要綱に明記しています。実績報告においては、支出の根拠を示す領収書等の添付を求めています。
		■予算の見積が適正である。	5	
5	適格性	■実施体制が明確である。	5	交付要綱に明記しています。明確な組織運営のもと、活動がなされています。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	4	
合計点数		39		
総合評価		継続		